

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年3月27日

事業所名: ONESMILE千歳店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		賃貸物件であるため、バリアフリー化については必要に応じて検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員間の連携を図り、ミーティングや会議の時間を定期的に計画し、情報共有・改善案等の意見を出し合いながら進めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開し、保護者様のご意見を事業所運営に反映してまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っておらず、今後必要に応じてを検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部で開かれる講習に積極的に参加し、学びを全職員へ共有をしております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			お子様の成長を感じて頂き、ステップアップに向けての計画を保護者様と一緒に考えていくため、面談をしっかりと行っていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各月のスケジュールや土曜のイベントは、職員全員で意見を出し合いながら進めております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日の活動内容をチェックしながら、お子様の負担も考えつつプログラムを検討しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		モニタリングを通じて、全職員でお子様の状況を把握し、ステップアップの目標を立案しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前日の振り返りは支援開始前にスタッフミーティングをして確認しております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日々の振り返りは翌日に必ず行い、全スタッフが共有するよう引継ぎを行っております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に行っております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が主となって参加しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		※支援実績はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		※支援実績はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		※支援実績はありません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		課外交流については、必要に応じて検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		交流会等の会議に参加しており、関係機関との情報共有を積極的に行っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子様の成長に向けて、保護者様との連携を密に行っていくため、面談を強化していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングについては来期以降で研修参加など立案してまいります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に管理者より説明を行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時にその日の出来事や特記事項を共有させて頂いております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		次年度は保護者会の開催を企画してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			より事業所内での活動を保護者様へ届けるため、インスタグラムの更新も見直していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報については契約時に保護者様から同意を頂き、事業所全体として遵守しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			避難訓練等、実施した場合はお便り等で明確に発信をしております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者様よりいただいたアレルギー情報を職員全員で共有をしております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		小さなことでも事案をスタッフ間で共有し、再発防止に努めております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部のみならず、外部講師を招いての研修を計画しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。